

えびあん

立川と語ろう 立川に生きよう

December 2020

Écoutez Bien Vol.37 No.429

12

コロナ禍に歴史を語る

表紙／立川からのダイヤモンド富士(富士見町)



カラスの学校

案内人：豊泉喜一氏

普通制服と言えば洋服を思いがちですが、明治43年（1910）頃から昭和18年（1943）頃までおよそ40年間、砂川村の小学校には着物の制服がありました。その間の卒業記念写真には、濃紺の着物の制服を着た写真が多数残っています。私立の小学校では当たり前のことかもしれませんが、この時代、村立の小学校で児童が制服を着ていたのは、大変珍しいことだと思われます。

当時東西およそ10キロもあった砂川村には、現立川八小の砂川尋常高等小学校と、現立川九小の西砂川尋常高等小学校と2つの小学校がありました。明治の末、純農村の片田舎であった砂川村の小学校で、どうして着物による制服を着るようになったのでしょうか。この濃紺の着物の制服については、立川市立第九小学校創立百年記念誌「あしっこ」によると、明治43年頃、当時校長をしていた小安伝先生の発案で、豊かな家の子供も、貧しい家の子供も、貧富の格差を気にすることなく、学校に通えるようにするため、この制服が採用されたそうです。制服と言っても当時「盲くら縞」と言う、作業着などに使われた濃紺の木綿の生地で、丈夫な上、洗濯機など無い時代、汚れも目立たず、自宅で縫えて費用も掛からないため普及したようです。

男子は普通の着物と同じ一重仕立てで、腰に「三尺」と言った帯を締め、卒業式や祝日にはその上に袴をはきました。女子も同じ生地の布を使い、今日で言えばワンピース風で腰から下は袴仕立て、上半身は現八小が通常の合わせ襟、現九小は道行襟で襟の部分だけ異なっていました。校服は男女共一重仕立てのため、冬は寒いので、普段着の上に重ね着をしました。この濃紺の制服を着た子供たちの様子が、カラスの群れのように見えたことから、周辺の人達からカラスの学校と呼ばれるようになったのです。

私が小学校に入ったのは昭和12年（1937）、中国との戦争日支事変が始まった年で、入学してから6年間この着物の制服で通学し、昭和16年（1941）には太平洋戦争も始まり、戦争の拡大と共に物資も不足するようになり更に周辺に軍需工場も次々と出来、転入生も次第に増えて、洋服を着た生徒が目立ち始めました。私たちが卒業した昭和18年の卒業記念写真を見ると、ほぼ全員が濃紺の制服ですが、何人か洋服姿が見えます。これを見ると、私たちが着物の制服で卒業した最後の学生であったと思います。翌年昭和19年（1944）の卒業記念写真を見ると男子生徒は全員洋服で、女子生徒だけが着物の制服姿で写っています。昭和20年（1945）は終戦の年であり、敗戦と共に生活様式は急激に変わり、着物を着て学校に行く子供など全くなり、カラスの学校は遠い昔話になりました。

※西砂川尋常高等小学校の制服を探したのですが見つかりませんでした。

制服をお持ちの方がいらっしゃいましたらえてびあまでお知らせください。



砂川尋常高等小学校の制服（女子用）



砂川尋常高等小学校の制服（卒業式・祝日などの正装：男子用）



砂川国民小学校昭和18年卒業記念写真



砂川国民小学校昭和19年卒業記念写真

いつも挑戦

立川で起業したおふたりに語ってもらいました

目立たないけれどしっかり仕事をしている人がある。
葛藤や苦勞を乗り越えての今、夢や期待を追いかける今。
ふたりの女性がそれぞれの道を語り合う。



柏町にある金澤さんのご自宅

——金澤さんは2014年の6月号、山本さんは2018年7月号にご登場いただきました。

GREEN SPRINGS内に「TOKYO 創業ステーションTAMA」ができましたね。

金澤 私、その創業支援の施設に行こうと思いました。

——まさか、それはないでしょう（笑）

金澤 「ティアラ」は34年経ちますが、もう1つの「&フォーク」はまだ2年目ですから。でも代表経験が5年以上あると参加できないんですね。今は時代も違うし新しく始めるにあたって、何か得るものがあるかなと思って。

——金澤さんは「自分はやってます」という感じが全くなくていつお目にかかっても自然体。

金澤 前回の取材の時は家族の体調が良くなって、アパレルの業界の不振とか将来も見通せなくて、でも社員は結構いるし…と辛い時期ではありました。

——「ティアラ」は、何人いらっしゃるのですか。

金澤 50人くらいです。100人いたのを半分にしました。今は前向きに進めていますが、当時は後ろ向きに縮小することに自分が追い付いていない時期で、辛かったんです。コロナの今よ

り、あの時の方が辛かったですね。
——コロナは影響ないのですか。
金澤 ありますよ。もう大打撃。マスクのおかげでなんとか凌ぎましたけど。
——山本さんは、道端で出会ったチョコレート職人と一緒にショコラチエを立ち上げたのが前回掲載の2018年。妊婦さんでした。
山本 そうです。出会って半年後くらいに、シェフが世界チャンピオンの称号をとったことを知って起業しました。でもどうやって売っていいかわからなくて（笑）。都内に進出しても同業者が多すぎるし、私は立川生まれの立川育ちですが、立川ってウドしかないというイメージで、立川土産がないのならまずは立川の人に知ってもらうのが一番じゃないかなと考えながら歩いていたら、クラウドファンディング募集のポスターを見つけて、すぐにその場で電話しました。「いい企画だからぜひ」と言っていただき、地域に根ざすクラウドファンディングで始めました。
——とにかく動いていましたよね。2019年はチャレンジショップでカフェもやっただし。
山本 4年前にマッサージサロンを開業して、地元の口コミNo.1にもならせていただきました

が、コロナでスタッフが辞めてしまって。7人いたのが今は私を含めて3人で頑張っています。やりたくてやっているの、自分というより周りの人の協力に感謝しかないです。

金澤 私はそういう意味では遠回りしたかなとも思います。自分で全部やりたい性だから。でもゴールをどうしたいか、会社組織でやりたいのか自分ひとりで続けるのか、その方向性によっても道は異なってくると思うんです。ティアラの時はひとりで始めてから会社組織にしたけれど、新しい会社は最初から人に任せられるところは任せていこうと思っています。その方が社員にとってもいいのかもしれない。自分はある程度やり切った感があるので、これからは若い人を育てていきたい。

——やり切ったとおっしゃいますが、「&フォーク」を語る時はお顔が違いますよ。やりたいことがいっぱいあるような。

金澤 そう！やりたいことはいっぱいあるんです。でももう身体にもガタがきていて（笑）、元気で活動できるのはあと10年かなと思っています。娘は3人とも留学しているんですね。でも私は行っていないのでそれを実行したい。

——すごいですね！

金澤 私はブログを綴っていたのですが、昔娘が発熱したのに仕事したと書いたら、「子どもが熱を出しているのに仕事なんて信じられない。仕事に行くより子どもの傍にいてあげてください」とコメントが来て。ああ、おっしゃる通りだなあって思ったことありました。でも、大切なお客様とのアポはキャンセルできないですよね。時代が時代でしたから、周囲の目が気になったこともありました。今はもう、そんなのどうでもいいやと思えるようになりましたけど（笑）。

山本 今でも変わらないですよ。出産してすぐに催事に出ていたら「子ども産んでなぜすぐに働くんだ」「子どもがかわいそう」って言われました。



山本優さん

金澤 「子どもがかわいそう」は自分自身が一番思っていることなんですよ。保育園での面談はいつも涙涙でした。子どもが3人いると、なかなか愛情をかけたとは言えない。子どもたちはずっと寂しい思いをしてきたのかなと思います。今はもう娘たちもそこを越えたので、むしろ娘たちは仕事に意欲的になれないお友達の状態を見て、「うちの三姉妹は仕事に対して意欲が持てないなんてないよね」と言います。きっと山本さんのお子さんもそう育つんじゃないかな、一番近くで見てくれていますから。
山本 子どもがどう育つかは未知数ですが、大人がちゃんと生きていくことが先じゃないかなと思います。大人がちゃんとしていないのに、子どもをちゃんとさせようという教育とかそのための施設ってどうでしょう。まずは大人が人生にきちんと向き合う、一生懸命生きることが大切なんじゃないかなと思います。娘が幼稚園の時、七夕の短冊に「マッサージをやりたい」と書いて、肩たたき券をくれたんです。嬉しかったですね。言葉では言わないけれどちゃんと見ていてくれているんだって。

——山本さんはそういう子育てなんですよ、ある意味とても幸せな。

金澤 うちもそうでしたよ。三女が1歳の時から20歳まで毎年10月に、主婦と生活社主催で「カントリーフェスタ」というのをやっていました。娘が小学生くらいの時にはレジをやっていた、大学生になってからは、今度はきちんとアルバイトとしてやってくれるようになりました。



山本 先日息子が2歳の誕生日を迎えて、何が食べたい？と聞いたらフランチャイズのチキンでした。普通はごちそうとケーキですよ。でも、息子が喜んで食べるその瞬間がすごく幸せで。家族団らんの時間がどうしても少なくなるので、みんなが揃ってご飯を食べるという時間が、食べるものが何であってもものすごく幸せを感じます。コロナは家族時間も増やしてくれました。
金澤 うちは家族一緒に韓国ドラマにはまりました。私はK-POPが好きでNiziUのファンクラブに入っちゃいました。ビュアで一生懸命でね。みんな性格がいいんですよ。性格のいい子しかプロデューサーのJ.Y.Parkさんが残さないから、J.Y.Parkさんに対しては経営者として学ぶことが多くて、私もそういう人にならなければ

ならないんだって思うんです。

山本 かける言葉がいいんですね。これから将来に向かって進んでいく若い人たちにかけていく言葉が子育てのヒントにもなります。

金澤 素直、真実、謙虚ってJ.Y.Parkさんが言っている言葉を「&フォーク」の経営理念に入れちゃいました（笑）。——「&フォーク」さんのHPはとてもきれいですね。

金澤 娘が未経験から作ったものです。今どうしたら販売につなげられるか試行錯誤してます。

山本 コロナ以降非対面ビジネス＝オンラインショップになりましたが、買いたくなるページ作りという面で、金澤さんがおっしゃる通り差が出てきます。私にはノウハウがなかったのが、全然違う切り口を考えました。これから実現させるのですが、高級チョコレートの自動販売機です。

金澤 面白いですね。オンラインショップはやった方がいいと思うけれど、商品を知ってもらうためには自動販売機は話題性がありますね。

山本 話題性という点では、伊勢丹さんの紳士服フロアでロイヤルセランゴールという錫メーカーと一緒して勉強になりました。食品フロアではないという話題性も大事だと思いました。
金澤 衝動買いできる価格帯で、よかったんじゃないですか。

山本 そうなんですよ。紳士服を買いに来たのにチョコレート買っちゃったとか、奥さんに買っていかうかとお求めになられたりして。パッケージも紳士服に合わせて革素材風の紙で本をイメージした箱を作ったり。

金澤 パッケージは依頼されるのですか。
山本 デザインは私がして、それを立川の障害者就労支援施設で作ってもらうんです。マッサージサロンを大きくして、チョコレートもやってという時、どうしても人を使わなければならない。そこが今の課題です。一緒に働く人には自分と同じ熱量は求められないにしても、一緒に盛り上げていきたいという、この葛藤がいつも心にあって。

金澤 ある方がおっしゃっていたのですが、自分のスタッフとしてスキルのある人を期待しがちですが、身の回りを見渡したら一緒に働く人はいるって。自然体ビジネスというのがこれからの在り方かもしれないですよ。右腕と言われる人は重要ですから、いい人を見つけれられるといいですね。チョコレートはどういう風に広げたいと思っていらっしゃるのですか。

山本 立川ではGREEN SPRINGSにある「THE Dragonfly BAR」で扱っていただいているんですが、海外にも販路を見出したいと思っています。中国でプロデュースすることになって、シェフが単身乗り込んだところでコロナです。

金澤 中国のどこですか。

山本 成都です。伊勢丹さんの新規オープン

にご一緒させていただいた形で、1階の化粧品フロアにサロンを設け、お買い物の途中で寄っていただくというコンセプトです。

金澤 立川の伊勢丹さんのつながりですか。

山本 そうです。えくてびあんさんに掲載された記事を当時の女性の店長がご覧になってお声をかけてくださいました。

金澤 うちも中国は長くて、20年くらい前から中国に通って、朝7時から夜11時くらいまで車で移動しながらやっていました。伊勢丹さんのような日本企業の中ならやりやすいかもしれませんが、中国で店舗展開しようとするハードルがいくつもあるんです。今はデザイナーたちが行ってくれるので私自身はもう3年くらい中国に行っていませんが、美味しいものをまだ食べたことがないという人も多い中国ですから、チョコレートはすごくいいアイテムかもしれないですね。
山本 いろいろ勉強しながら広げていきたいです。

金澤 コラボできるかもしれないですね。一緒に頑張っていきましょう。

山本 はい！よろしくお願いします。

金澤明美さん

株式会社アンドフォーク代表取締役社長 34年前毎日の生活を楽しむための製品やライフスタイルを提案する会社をひとりで始め、株式会社ティアラとして洋服や生活雑貨小物を世に送り出し続けてきた。立川ではグランデュオ立川に店舗がある。すべて一から手作りを基本とし、多くの女性の心をつかんでいる。2年前からドライフラワーを商品群に加え、昨年から株式会社アンドフォークとしてコスメ部門を設立。やりたいことはたくさんあるけれど野心家ではない。自然体の生き方が魅力的な立川人。

アンドフォークHP ブランドサイト
https://andfolk.co.jp/ https://botanicfolk.com/



山本 優さん

ショコラチエ エレガンス代表 4年前にマッサージサロン〈sunnymoon〉を立ち上げ、地域口コミNo.1のお店に育て上げた。武蔵野美術大学出身であるだけに、イラストでものづくりを身近にしよう（こはるworks）も手がけている。2018年、世界一のタイトルを持つチョコレート職人と不思議な出会いがあり、そこからショコラチエ エレガンスとしてチョコレート業界へ踏み込んだ。まだまだ試行錯誤の繰り返し。天性の明るさと切り替えの速さが彼女の魅力。

負けないで前向きに

コロナ禍は飲食だけじゃない

「この時代、糸偏の仕事はむずかしいな」と伊藤平八朗さん。御年96歳、お店に姿は見られないが現役だ。いろいろな時があったけれど、その時々乗り越えてきた。越えた人にしか言えない言葉がつづられる。



北口立川駅前大通り 昭和7年頃の様子 右側中ほどの黒い屋根が丸屋



両親（金蔵とイ子）と兄弟 平八朗さんは右端



昭和26年頃の銀座通り 右側手前に所沢屋の看板が見える

「大変な時と言ったらやっぱり大東亜戦争（第二次世界大戦）だな。始めは商売も伸びた。けれど日本が劣勢に立たされてからは親父も作業服を着て出ていくようになり、強制疎開で北口の店から錦町に移った。でも私は戦争に行っていたから、その頃のことはよく知らない。戦後、店は錦町にあったが、私は戦争から帰ってきて、北口の闇市で鈴木という洋品屋とそこで商売をした。配給制度が始まると、曙町の銀座通りにあった所沢屋という洋品屋と呉服屋が、東京都衣料品組合立川支部としてそこに店を持って切符で商いをした。今の曙橋交差点南側の角から緑川通り沿いに西へ立川北駅前交差点辺りまで、表側はバラックのアメリカ人相手の店が並び、裏側は飲み屋街になったんだ。闇市を撤退してから今度はそこで私と山野目さんと組んでアメリカ人相手に商売した。お嬢様とか刀とか江戸袂とか。まあ、いろいろなことをやって

生き延びてきたよ。個人でやるようになって、木綿の反物や晒が多かったね。親父は衣料品組合の支部長だったから東京へ行って、日本橋から正規のルートで仕入れていた。でも一方では、お袋が骨董商の免許をとって骨董市場へ行って仕入れてそれを売ってもいた。お袋は府中の染物屋の長女だったね。

今は、八王子の呉服屋も近隣に広げた支店をどんどん閉めてしまったりしていて、糸偏はダメ。今が最低じゃないか。立川でも、こやま呉服店、丸屋、中屋、いしやま、三好屋呉服店、山宗呉服店、つるや呉服店、といろいろあったが、現在も呉服屋をやっているのは丸屋と中屋だけ。日本橋界限の大きな呉服問屋がほとんどマンションやビルになってしまったね。とにかく糸偏には受難の時期だ。

他で買われた着物をお直して、例えばお母さんの着物を娘さんが着

られるようにするとか、小物を扱うとかして頑張っている。細かいことは若い者たちがやっているのもうわからないが、平成12（2000）年に伊勢丹が現ビックカメラの場所から現在の店舗に移転するとき、一か月間の閉店セールをした。その時はひっちゃかめっちゃか。孫が大学生だったか、レジを手伝っていたのだけれど、もう間に合わない。

私は比較的楽をしてきた。弟たちは戦中も戦後も苦勞をしてきた。もうみんななくなっちゃったけれどね。どんな時も辛抱強くということが大事だね。」

「人生は疲れるよ」とおっしゃっていましたが、まだまだ手帳はスケジュールでいっぱい。お元気でご活躍ください。



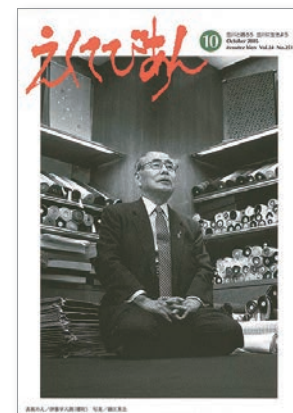
昭和45年11月23日、十三重供養塔奉納と共に、父金蔵氏と前妻京子さんの1周忌法要を普濟寺で 「半年で二人も逝っちゃった」と平八朗さん



昭和45年9月12日 伊勢丹が現ビックカメラの場所に移転オープン



平成2年（1990）4月号のえくてびあん 平八朗さんと良三さん



平成17年（2005）10月号のえくてびあん 表紙モデルに

コロナウイルスまとめ

中国武漢市で原因不明の肺炎患者発生

中国武漢の原因不明肺炎に対し厚労省が注意喚起
WHO 新型コロナウイルスを確認
国内初の感染者を発表（武漢に渡航した中国籍の男性）
武漢市 都市封鎖
日本人の初感染者確認（武漢の客を乗せたバス運転手）
WHO「国際的な緊急事態」を宣言
中国の感染者1万人突破
湖北省からの外国人の入国を拒否
「ダイヤモンド・プリンセス号」で香港で1月25日に下船した男性の感染確認
乗客の感染が確認された「ダイヤモンド・プリンセス号」横浜港に入港
「ダイヤモンド・プリンセス号」横浜沖で14日間の船上隔離開始
国内初の死者確認 感染経路不明の事例相次ぐ
厚生労働省が受診の目安を発表
政府が対策基本方針を発表
北海道鈴木知事が公立小中学校に休校要請を発表
首相が大規模イベント自粛を要請
韓国大邱からの外国人の入国を拒否
首相が全国の学校に臨時休校を要請
首相が記者会見「これから1〜2週間が瀬戸際」
中国 習近平主席の来日延期
中国全土、韓国全土からの入国規制を強化
専門家会議が感染リスクの高い「3条件」を提示
「3条件の重なりを避ける」ことを呼びかけ
WHOが世界の流行状況を「パンデミック」認定
WHO事務局長「今や欧州がパンデミックの中心地」
新型コロナ対応で「新型インフルエンザ等対策特別措置法」改正公布
東京五輪 1年程度の延期を決定
小池都知事緊急会見 週末の外出自粛を要請
国内の1日あたり感染者数が100人を突破
志村けんさん死去
世界の感染者数100万人突破
政府が緊急事態宣言発令（7都府県対象に5月6日まで）
「人の接触 最低7割、極力8割削減を」
世界の死者 10万人突破 国内の感染者これまでの最多700人を超える
緊急事態宣言を全国に拡大 13都道府県は「特定警戒都道府県」に指定
国内の感染者数 1万人を突破
新型コロナ対応の補正予算成立
政府の緊急事態宣言5月31日までの延長を決定
アメリカの抗ウイルス薬「レムデシビル」を厚労省 特例承認
国内の感染者数 1日の人数が100人を下回る
政府 緊急事態宣言39県で解除、8都道府県は継続
夏の全国高校野球 戦後初の中止決定
緊急事態宣言 関西は解除 首都圏と北海道は継続
緊急事態宣言 全国で解除
初の「東京アラート」都民に警呼びかけ
世界の感染者 1日最多の13万6千人
都道府県またぐ移動の自粛要請 全国で緩和
世界の感染者1000万人を超える
世界の死者 50万人を超える
東京都107人の感染確認 100人超は2カ月ぶり
国内の1日の感染者 2か月ぶりに200人を超える
東京都224人の感染確認 200人超は3カ月ぶり
国内の感染者300人を超える 5月2日以来
国内の1日の感染者400人を超える 4月24日以来
WHO「多くの国が誤った方向に、事態悪化を警告」
世界の死者60万人を超える
「Gotoトラベル」キャンペーン開始
国内の1日の感染者795人で過去最多
東京都 366人感染確認 過去最多
WHO「パンデミックは加速し続けている」と発表
国内の死者1000人を超える（クルーズ船除く）
国内の1日の感染者1000人に超え 岩手で初確認
アメリカの感染者数が500万人を超える
世界の感染者 2000万人超え
ヨーロッパで感染再拡大 措置相次ぐ
4〜6月期のGDP -27.8%
対策分科会 尾身会長「流行はピークに達したとみられる」
新型コロナ感染者への対応 ルールの見直し検討
政府が新型コロナ対策の新たな方針発表
世界の製薬会社など9社が新型コロナワクチン開発で「安全最優先」を宣言
アストラゼネカ 新型コロナのワクチン臨床試験を一時的に中断
アストラゼネカ 再開
トランプ大統領 新型コロナウィルスに感染
ヨーロッパで感染急拡大
フランスが3カ月ぶりに非常事態を宣言 ヨーロッパで感染再拡大
東京都で新たに284人の感染確認。
ヨーロッパで感染さらに拡大。
直近1週間の新規感染者数は3月の「第1波」の3倍近くに。
都民割引「もっとTokyo」開始

えくてびあんの輪	
えくてびあんはリストのお店にあります。 今月は 柴崎町・富士見町・緑町・泉町・西砂町 一番町・上砂町・砂川町・柏町 のお店です。	
柴崎町 ● 富士見町	NPO 法人 東京賢治の学校 523-7112
	(株) 浅見酒店…………… 522-2823 伊藤接骨院…………… 524-7861 手作りケーキの店 プティ・パニエ 529-8364 さえき 西立食品館…………… 529-5333 西村歯科クリニック…………… 519-9501 井上レディースクリニック…………… 529-0111 中華レストラン 東華園…………… 529-0458 有料老人ホーム サンピナス立川 527-8866 飯塚花店…………… 522-5684 うさぎ専門店 ラッキーラビット 524-6054 びーびー K 70…………… 525-3623 (株) ホーミー…………… 522-2220 カフェ・貸しホール ぱくだん畑 522-2214 波多野米店…………… 522-2884 立川市社会福祉協議会…………… 529-8323 桜井電材(株)…………… 523-5281 立川市歴史民俗資料館…………… 525-0860 乙黒東洋整骨院…………… 523-1859 インテリア アイアイ…………… 522-5972 たましん 富士見町支店…………… 528-1741 涌ノ上米店…………… 522-4019 ESPOA おぎの…………… 522-4500 建築リフォーム(有) 日防商会 0120-263821 (株) 立川印刷所…………… 524-3268 日本交通立川(株)…………… 528-2151 松栄寿司…………… 524-6958 ふじみ食堂…………… 523-4791
緑町	Adam's Awesome Pie 595-8375 GREEN SPRINGS info. 524-2222 国立国語研究所…………… 540-4300 国立極地研究所…………… 512-0652 南極・北極科学館…………… 512-0910 国文学研究資料館…………… 050-5533-2900 花みどり文化センター…………… 528-1751 昭和天皇記念館…………… 540-0429
泉町	インヴォラーレ・ルーデンス 立川ルーデンステニスクラブ 525-9677 blooming bloomy 55ぼーと立川立飛店 548-1215 東京消防庁 立川消防署…………… 526-0119 Café はあもにい♪…………… 512-7810 大和ハウス工業(株) 多摩支店 525-1821
西砂町	砂川庵 甚五郎…………… 531-6788
一番町	私立立川ひかり保育園…………… 531-1273
上砂町	B3+ギャラリーウェルメイド 538-7250 fresh shop スーパーはしもと 536-2331
砂川町	みの一れ立川…………… 538-7227 JA 経済センター 立川店…………… 536-1824 陶工房 己流庵…………… 537-6102 たましん 砂川支店…………… 535-4411 珈琲豆焙煎工房 まめ吉…………… 535-1070 BREAD & Sweets マニシェール 537-2202
柏町	山梨中央銀行 立川支店…………… 536-0871 株式会社 セレモア…………… 534-1111 超こつりらーめん パワー軒 535-1665 H.works…………… 537-7763 ベーカリー リオンドール…………… 535-4882 (有) まつい測量…………… 534-4411 ピーコック 玉川上水店…………… 538-3861 菅家医院…………… 536-4602



真如苑提供番組「常楽我浄」

スカパー！：529ch

スカパー！で放送の常楽我浄は
スマートフォンアプリ「ivy」(無料)で視聴できます。

J:COM 多摩：11ch・111ch

放送時間については番組表をご確認ください。

www.shinnyo-en.or.jp

街の話題

TOPICS OF TACHIKAWA

有終の美！全国4位で飾りました

本年が最後となった「ゆるキャラ®グランプリ2020 THE FINAL」。立飛HDのイメージキャラクター〈たっぴくん・たっぴちゃん〉が、「企業・その他部門」で4位に輝きました。〈たっぴくん・たっぴちゃん〉は2016年から同グランプリに挑戦。71位、43位、29位、17位そして4位と、立川ならびに多摩地域の盛り上がりとともに順位を上げてきました。これからもきっと大活躍してくれることでしょう。ご存知ですか？ たっぴくん・たっぴちゃん、背中に赤トンボの翅をつけ、背負うリュックには愛と夢と幸が詰まっているんですよ。



上位になった全国のゆるキャラたちと（岩手産業文化センターアビオ会場で）



表彰イベント 壇上で4位を祝勝されて一言（同会場）



立飛ブース前で（同会場）

11月24日、柴崎町に戻ります

東京都多摩立川保健所が羽衣町から柴崎町に移転します。きれいにできあがった新庁舎。令和2年11月24日、立川児童相談所、健康安全研究センター食品監視第二課とともに新庁舎へ。場所は、立川市柴崎町2丁目21番19号。電話番号、FAX番号に変更はありません。窓口受付は平日 午前9時から午後5時まで。緑に囲まれた新庁舎は青空に映えるとてもきれいな建物です。



新庁舎入口



「ドーバーばばあ」の今

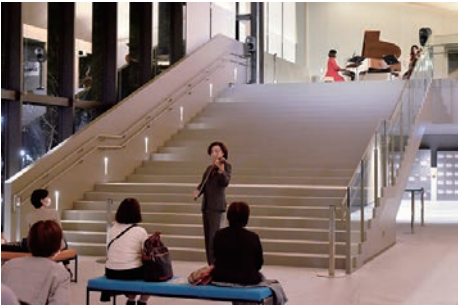


2019年10月熱海での練習の様子

コロナ禍で今年ドーバー海峡を渡ることを断念せざるを得なかった「ドーバーばばあ」の皆さん。えくてびあん読者から「ドーバーばばあの大ファンです。みなさん、どうされていますか。応援しています」とお便りをいただきました。映画「ドーバーばばあ」の監督である中島久枝さんにうかがいました。大丈夫！みなさん、とっても元気に練習を重ねているそうです。ドーバーへ行けるように申請は出し続けていて、来年ダメでもその翌年へと、あくなき挑戦を続けるそうです。立川が誇るすごい人たちですね。

ロビーで、ガーデンステージで♪

グリーンスプリングス北端にあるTACHIKAWA STAGE GARDENで、10月の毎月曜日、ロビーコンサートが開催されました。質の高い音楽を身近に楽しんでいたこうという企画。出入口を開け放って、感染症対策はしっかりと。人が人を呼んで、初回より2回目、2回目より3回目、4回目にはとてもたくさんの方が



10月6日の様子



10月26日の様子

立川流すてきな週末

10月24日と25日、青空と爽やかな風が迎えてくれたGREEN SPRINGS パブリックスクエアに、立川流優雅な時間が流れていました。ボサノヴァの生演奏を聴きながら思い思いに食事をしたり語り合ったりの「Table d'hôte(ターブルドット)」。感染症の対策は維持しながらの、子どもも大人も楽しい企画。空と緑がごちそうという立川ならではのお楽しみでした。



芝生が気持ちいい



ペットも一緒に楽しめる空間はいいですね

〈シェ・タスケ〉さんからの独立です

えくてびあんでは表紙にもご登場いただき、素晴らしいお料理も紹介させていただいたフレンチの老舗〈シェ・タスケ〉さんのシェフが、新規独立されることになりました。店名は〈L'asymétrie〉アシメトリイ。〈シェ・タスケ〉時代と同じ味、同じ笑顔で迎えてくれます。場所は〈シェ・タスケ〉から北側に15m。気持ち新たに11月オープンです。L'asymétrie(アシメトリイ)

立川市曙町1-28-10 ウェストウイングビル1F



表紙

立川から見る富士絶景

いわゆる〈ダイヤモンド富士〉。えくてびあんが冬の富士絶景を撮影し始めて十二支が一巡しました。撮影ポイントをわり出す方法を教えてくださいなられています。頂の横幅と太陽の直径が同じ長さに見えるのが立川の特徴。富士の頂に太陽がタッチダウンする瞬間を「ダイヤモンド富士」と勝手に定義して撮影してきました。太陽が行って帰って、年に2度しかない撮影チャンス。屋上に立ち入る許可を頂戴するなど多くの方にご協力を賜りました。10年も撮影していると、山と太陽だけでは物足りなくなってきた、強い風や飛ばされる雲、山の斜面に見える雪煙や飛行機。静止画に動きのある飾りが欲しくなる。富士見町にあるビル屋上から、ちょうどいい具合にそれらが混ざり合った1枚が撮れました。

かたこと

◆コロナコロナで何もしないうちに1年が経とうとしています。何もしなかったわけではない。何もできなかったというのが事実でしょうか。100年にあとひと息という人生には、山もあったし谷もあった。でもこのコロナは厳しいと伊藤平八朗さん。頑張る皆さんに長老からのエールです◆砂川の小学校に制服があったとは驚きです。男女とも正装の時には袴をはきました。着物型ですから合わせは同じ。スカートのようにひだのある身ごろや袂のある袖など、女の子には機能に愛らしさが加わっています。丈夫な木綿の生地と呼称は今では使われない言葉ですが、時代を尊重し当時のままに記しました◆女性起業家の対談は初対面なのになんと3時間以上になりました。やりたいことに突き進むお二人は意気投合、立川の未来が輝いているようでした。お二人ともご主人は同士のような存在だそうです◆数年前、小欄に時おり登場した「小ねたジロー」が、多摩てばこネットに「こねたJ」として記事を書いております。立川に移り住んだ関西人のぼやき、面白いですよ◆最近テレビによく登場する立川。取材対象はGREEN SPRINGSが多いのですが、本来の立川は南口。ディープな立川を、歴史や地理とともにご紹介したいえくてびあんです。2021年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

えくてびあんスタッフ一同

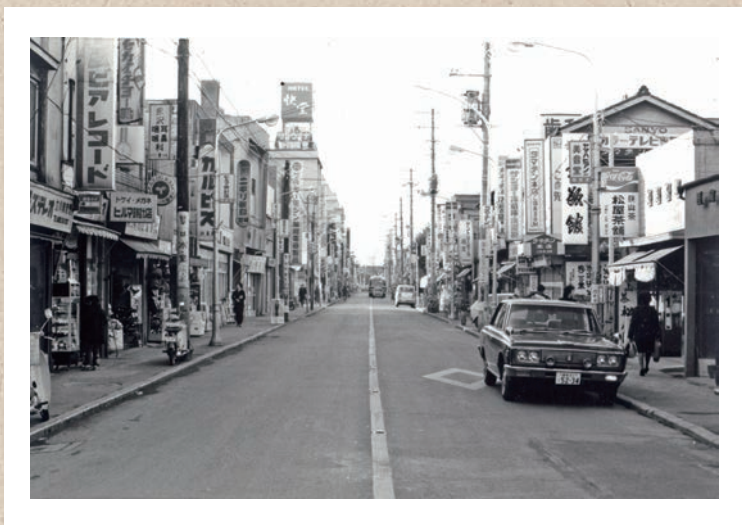
えくてびあん ⑥

12月号 第37巻 通巻429号

令和2年12月1日発行
発行 有限会社えくてびあん
〒190-0023
東京都立川市柴崎町2-1-10 高島ビル4F
TEL 042-528-0082 FAX 042-528-0065
E-mail message@tamatebakonet.jp
URL https://www.tamatebakonet.jp
発行人 黒須 環
企画・写真・編集 えくてびあん編集スタッフ
デザイン 池田隆男（WATER DESIGN ASSOCIATES）
印刷 三浦印刷株式会社・DECK C.C.

無断転載を禁じます。

銀座通り



〔昭和色 立川の風景カレンダー そのII StreetIII〕（写真：立川市歴史民俗資料館）

1972年～75年まで東京12チャンネル（現テレビ東京）で日米対抗ローラーゲームという番組が放送されていた。日本のチームは東京ボンバーズという名称で、ローラースケートブームを巻き起こしていた。当時のローラースケートは今のようなものではなく、鉄製の便所サンダルにローラーがついていて、成長に合わせてサイズを変えられるようなものだった。毎週日曜日、歩行者天国になる曙町の銀座通りに、友達とみんなで遠征してローラーゲームをした。それに飽きると高島屋の地下に行って焼きそばを食った。あの頃はものすごく美味しいものだと思っていた。何年か前の復刻版にはものすごい行列ができた。1時間半並んで食った味は「？」だった。かつて高島屋で腕を振るってくれていた玉川良一似のおじさんが、この復刻も調理していたのに。もうひとり、オレらが「ガンツ先生」と呼んでいたおじさんもいた。「ガンツ先生」は『がんばれ!! ロボコン』に登場するキャラクターだが、ある日富士見町の千歳湯に行ったら、そのおじさんが湯船に浸かっていた。オレの顔を見ると「お～、お兄ちゃん、どうもね～」と声をかけてきた。オレはそれほどまでに高島屋の焼きそば屋に通っていたのか。中学生になると150円で大盛を食って、そのあと100円で並を食った。家に帰る途中出会った友達に「焼きそば食ってきたろ。歯に青のりついてるぜ」と言われたり。そういえば「デモ屋」の姿が消えた後、宮内さんのオバサンに道で出会うと挨拶をされたが、「デモ屋」と「高島屋の焼きそば」は顔を覚えられるくらい常連だったみたい。

語り：鈴木 武 氏（立川印刷所社長）